

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係 都市整備課 都市整備・側溝清掃担当

事務事業名	準用河川維持管理事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	8	土木費	
	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり	項	4	河川費	
	施策	1-1 安全・安心な日常生活の確保	目	1	河川維持費	
	基本方針	1-1-1 防災・減災対策の推進	事業	1	準用河川維持管理事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	市が管理する準用河川の適切な維持管理を行い、河川が持つ本来の治水機能を確保し浸水被害の軽減を図る。	事業の内容	準用河川の通水を阻害する堆積土砂の撤去や繁茂した草木の伐採等を行う。
-------	---	-------	------------------------------------

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標		
	清掃箇所			R2	R3	R4	R5	
指標の説明	清掃を実施した箇所		箇所	0	2	2	2	
				0	2			
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算		市民一人あたりのコスト		
関連事業費	事業費		0	8,619,600	1,000,000		R2	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0		R3	235
		地方債	0	8,100,000	0		各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他	0	0	0		R2	37,243
		一般財源	0	519,600	1,000,000		R3	36,670

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由	準用河川の適切な維持管理を行い、治水機能を確保し浸水被害の軽減を図ることによって市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに寄与するものであることから、今後も定期的に事業を行うことが妥当であると判断する。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
		現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	浸水被害の防止、軽減に向け、面的に実施している側溝清掃事業に加え、その流末となる準用河川の適切な維持管理を一体的に行うことにより、治水機能の確保及び浸水被害の軽減を図る必要がある。
今後の方向性	今後も引き続き、準用河川の適切な維持管理を行い、治水機能を確保し浸水被害の軽減を図る。